

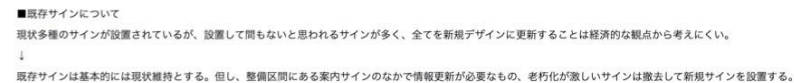
「長門湯本温泉観光まちづくり計画（平成２８年８月 長門市）」サインに関する記載内容は下記のとおりである。

- 昨年度第3回推進会議において既存サインの考え方、新規サインの考え方について提示済み。

- ・現状多種のサインが設置されているが、設置して間もないと思われるサインが多く、全てを新規デザインに更新することは経済的な観点から考えにくい。
- ・よって、既存サインは基本的に現状維持とする。
- ・但し、整備区間にある案内サインのなかで情報更新が必要なもの、老朽化が激しいサインは撤去して新規サインを設置する。

- ・シンプルでニュートラルなデザインとする（あえて和風にしない）。
- ・将来的に撤去されないインフラ施設やその誘導サインはコンパクトは自然石サインとする。
- ・観光案内など大型サインは既製品をベースに色調やグラフィックなどで地域性を表現する。
- ・新規に施設開設サインが必要な場合は誘導サインB（高さを抑えた改良版）を基本とする。
- ・誘導サインAの配置は、情報無しに人が不安なく歩ける距離150～300mを目安とする。

- ・サインは英語併記とすることが望ましい。
(中国語や韓国語までは必要なく英語のみで良い)



昨年度第3回推進会議（平成29年11月28日）サインに関する資料

ランドスケープデザイン担当 有限会社カネミツヒロシセツケイシツ kanemitsu hiroshi design office	検討案	長門湯本温泉観光まちづくり事業 景観デザインガイドライン運用・設計支援業務 ランドスケープデザイン	サイン計画	2018.11.19	サイン 01
			S=non scale(A3)	設計・施工支援/検討図	